

2025年度 学生調査 学部生全体の集計結果

京都ノートルダム女子大学
2026年7月

【2025年度 学生調査実施概要】

1. 対象者： 学部2・4年生(全国学生調査)
学部1・3年生(全国学生調査と同じ質問の調査を学内で実施)
2. 実施方法： Webフォームより回答
3. 調査時期： 2025年11月 ～ 2026年2月
4. 主要調査項目：
授業経験、在学中に経験したことの有用性、知識・能力の獲得状況、
大学での学びの振り返り、正課内外の活動時間
授業の受け方、キャリア形成・就職活動に対する考えや態度

本集計結果には、上記「主要調査項目」より、以下の項目を抜粋して掲載しています。

- ・授業経験(Q1)
- ・在学中に経験したことの有用性(Q2)
- ・知識・能力の獲得状況(Q3)
- ・大学での学びの振り返り(Q4)
- ・正課内外の活動時間(Q5)

※「全国学生調査」は、文部科学省が実施する学生調査です。

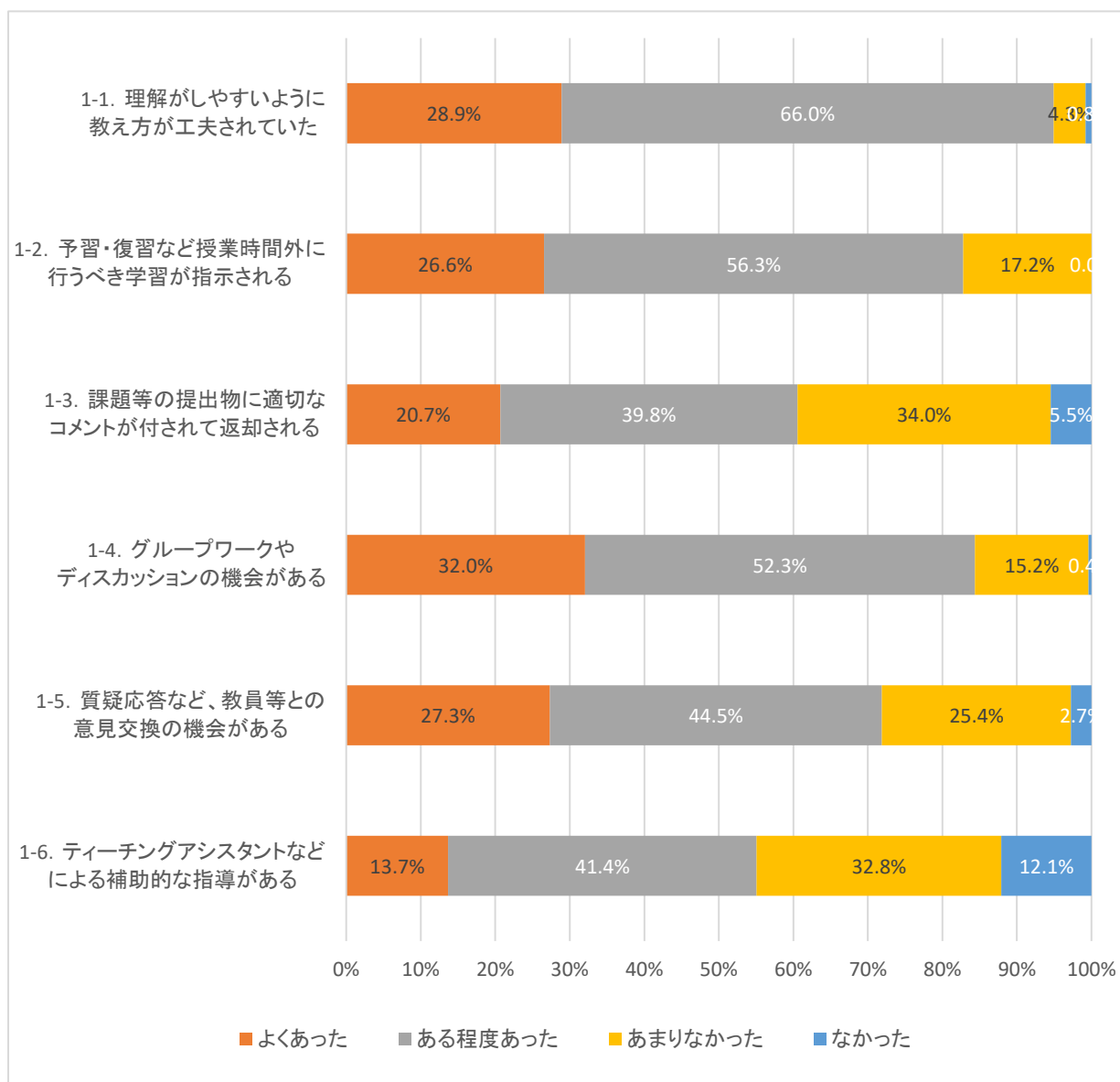
※調査項目は、「全国学生調査」の調査項目および本学が作成した調査項目を採用しています。

5. 回答状況：

学年	対象者数	回答数	回答率
1年	169	119	70.4%
2年	190	50	26.3%
3年	192	48	25.0%
4年	247	39	15.8%
合計	798	256	32.1%

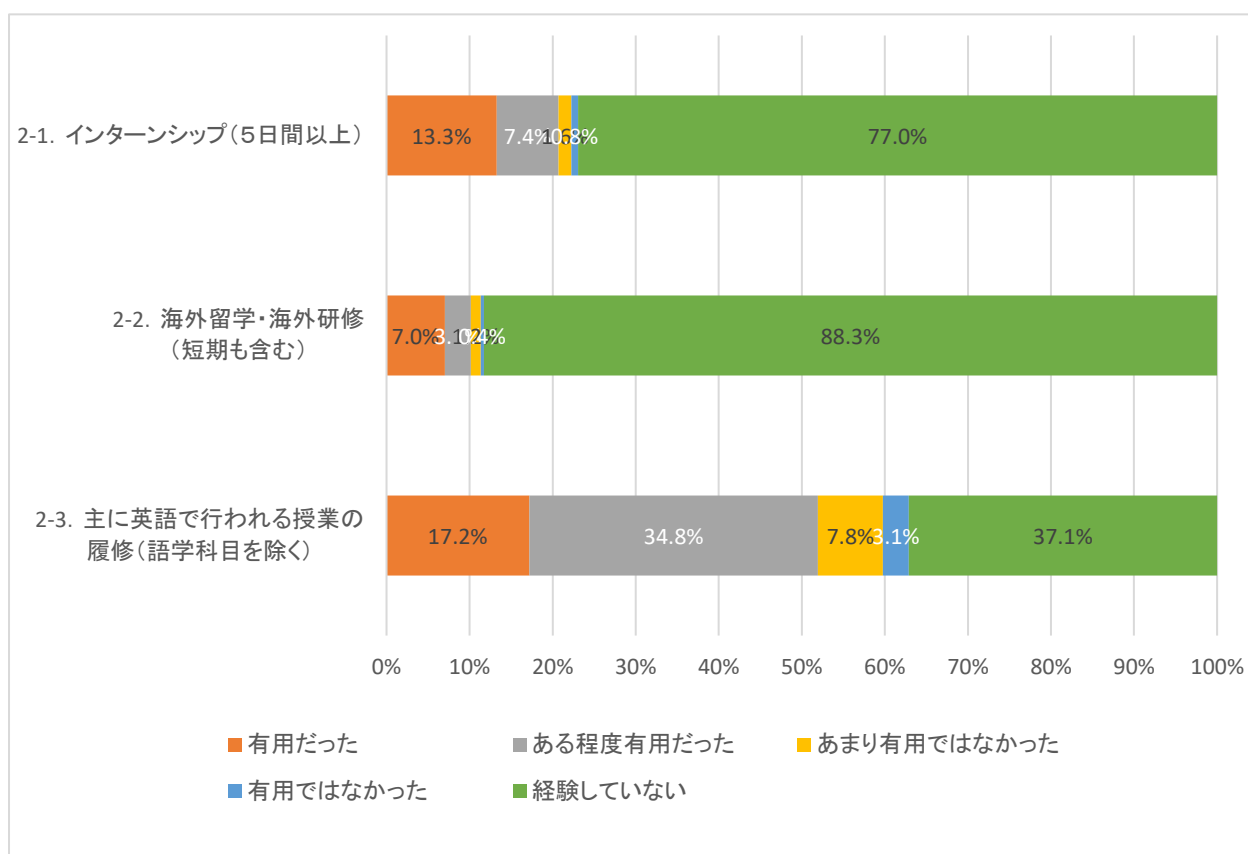
Q1. 大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか。

(令和7年度 全国学生調査 設問[1])



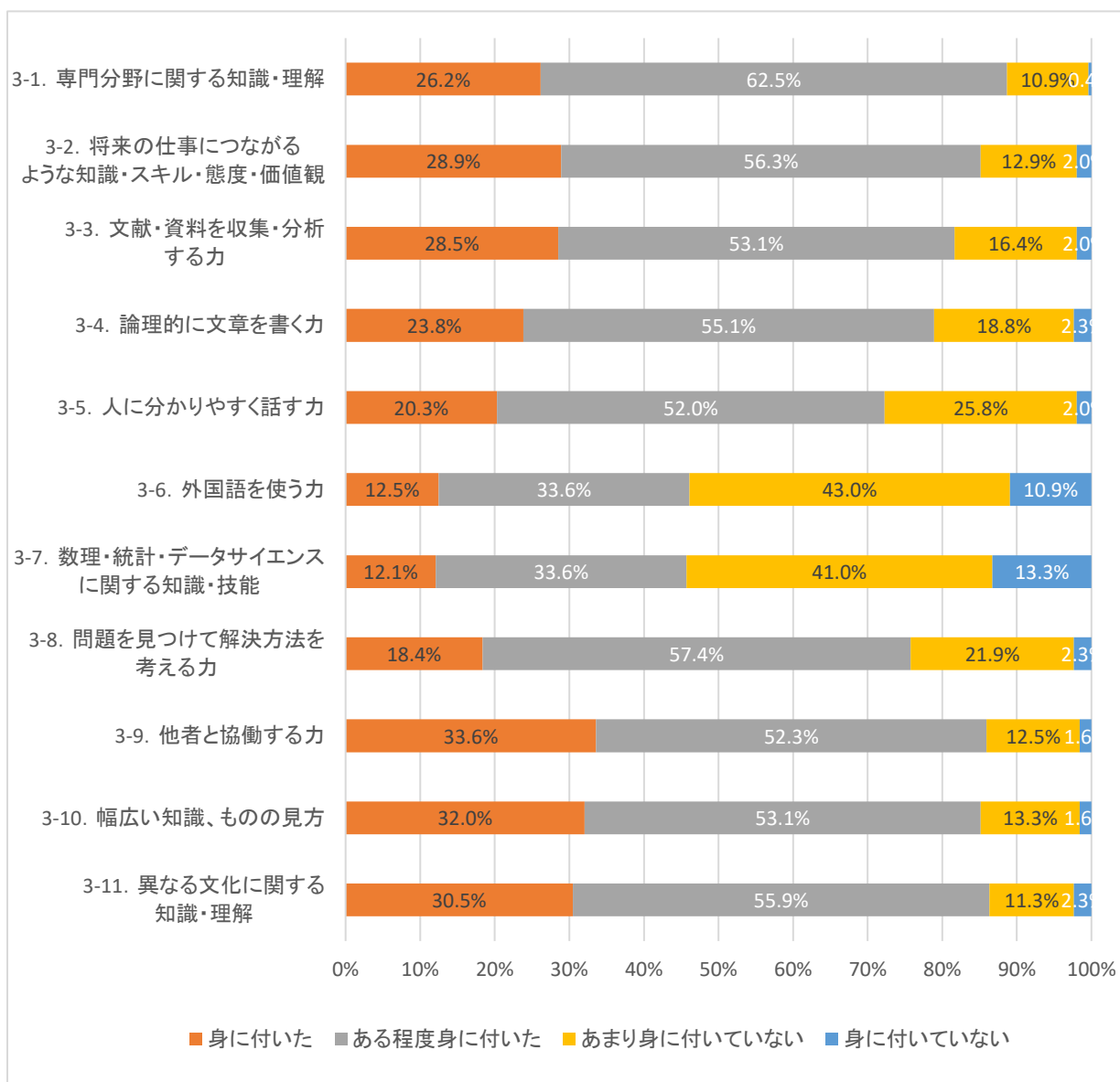
	回答数	よくあった	ある程度あった	あまりなかった	なかった
1-1. 理解がしやすいように 教え方が工夫されていた	256	28.9%	66.0%	4.3%	0.8%
1-2. 予習・復習など授業時間外に 行うべき学習が指示される	256	26.6%	56.3%	17.2%	0.0%
1-3. 課題等の提出物に適切な コメントが付されて返却される	256	20.7%	39.8%	34.0%	5.5%
1-4. グループワークや ディスカッションの機会がある	256	32.0%	52.3%	15.2%	0.4%
1-5. 質疑応答など、教員等との 意見交換の機会がある	256	27.3%	44.5%	25.4%	2.7%
1-6. ティーチングアシスタントなど による補助的な指導がある	256	13.7%	41.4%	32.8%	12.1%

Q2. 大学在学中に経験した以下の項目はどの程度有用だったと感じますか。
(令和7年度 全国学生調査 設問[2])



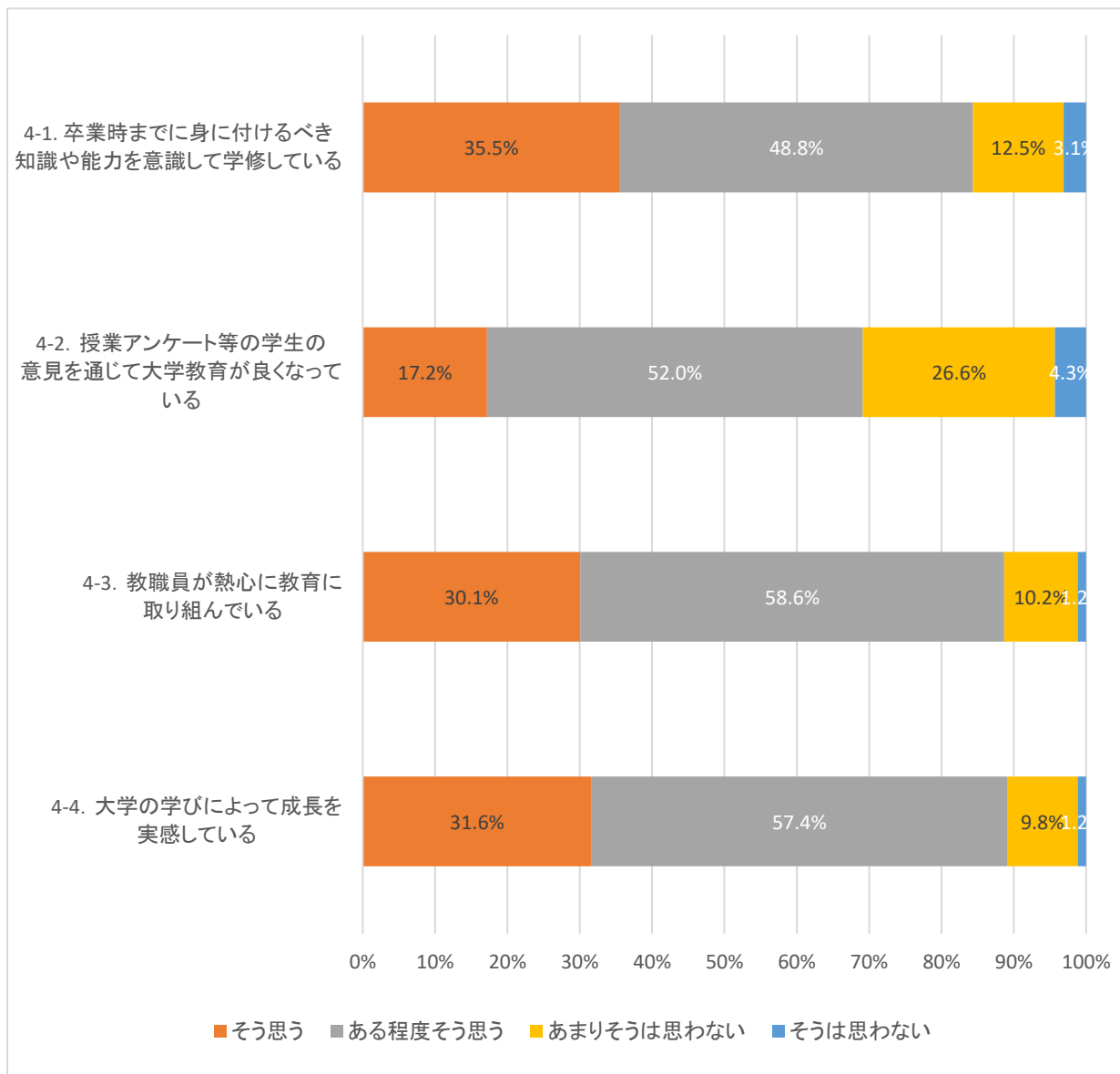
	回答数	有用だった	ある程度有用だった	あまり有用ではなかった	有用ではなかった	経験していない
2-1. インターンシップ(5日間以上)	256	13.3%	7.4%	1.6%	0.8%	77.0%
2-2. 海外留学・海外研修(短期も含む)	256	7.0%	3.1%	1.2%	0.4%	88.3%
2-3. 主に英語で行われる授業の履修(語学科目を除く)	256	17.2%	34.8%	7.8%	3.1%	37.1%

Q3. 大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか。
(令和7年度 全国学生調査 設問[3])



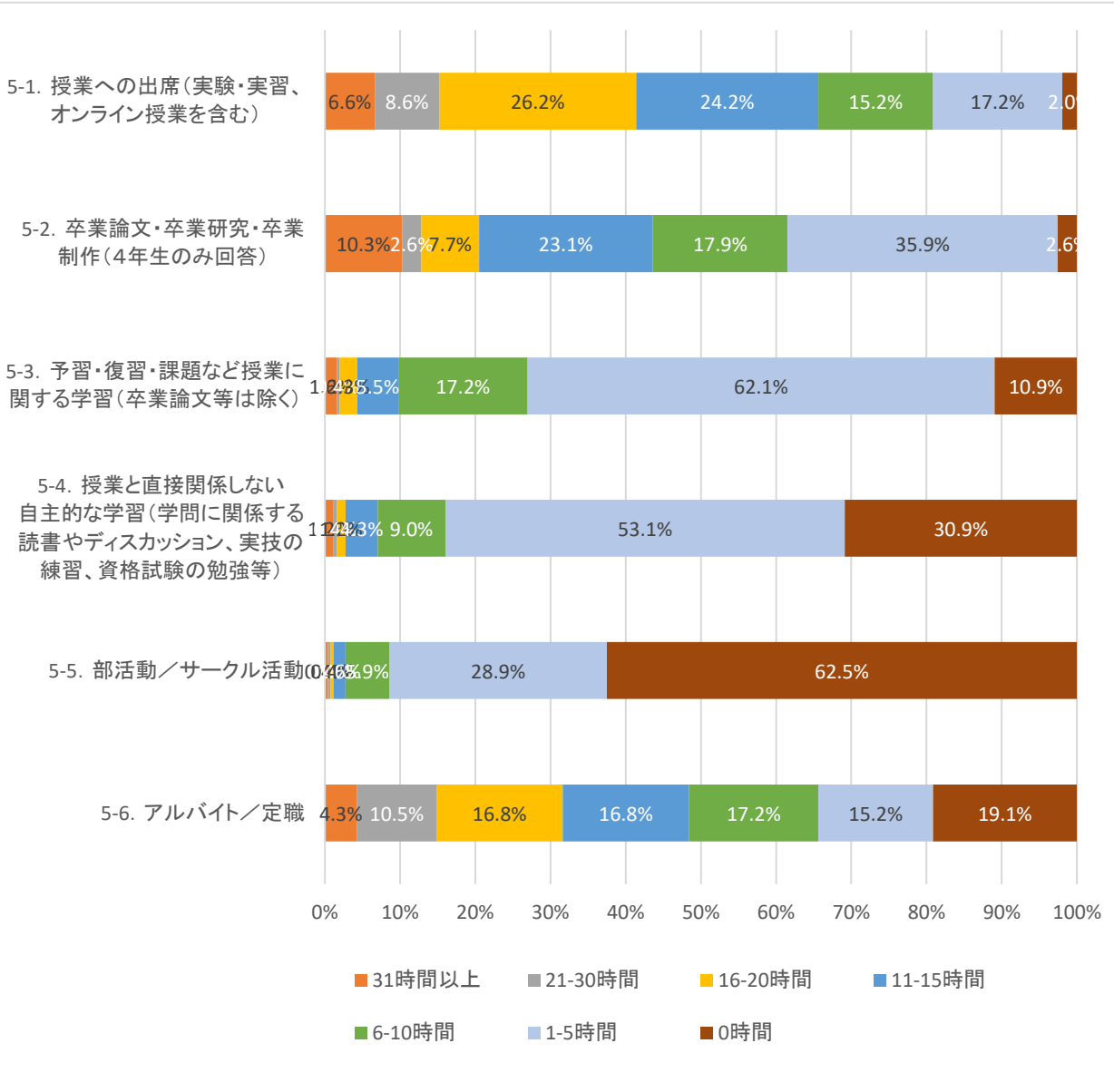
	回答数	身に付いた	ある程度身に付いた	あまり身に付いていない	身に付いていない
3-1. 専門分野に関する知識・理解	256	26.2%	62.5%	10.9%	0.4%
3-2. 将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観	256	28.9%	56.3%	12.9%	2.0%
3-3. 文献・資料を収集・分析する力	256	28.5%	53.1%	16.4%	2.0%
3-4. 論理的に文章を書く力	256	23.8%	55.1%	18.8%	2.3%
3-5. 人に分かりやすく話す力	256	20.3%	52.0%	25.8%	2.0%
3-6. 外国語を使う力	256	12.5%	33.6%	43.0%	10.9%
3-7. 数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能	256	12.1%	33.6%	41.0%	13.3%
3-8. 問題を見つけて解決方法を考える力	256	18.4%	57.4%	21.9%	2.3%
3-9. 他者と協働する力	256	33.6%	52.3%	12.5%	1.6%
3-10. 幅広い知識、ものの見方	256	32.0%	53.1%	13.3%	1.6%
3-11. 異なる文化に関する知識・理解	256	30.5%	55.9%	11.3%	2.3%

Q4. これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか。
 (令和7年度 全国学生調査 設問[4])



	回答数	そう思う	ある程度そう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない
4-1. 卒業時まで身に付けるべき知識や能力を意識して学修している	256	35.5%	48.8%	12.5%	3.1%
4-2. 授業アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている	256	17.2%	52.0%	26.6%	4.3%
4-3. 教職員が熱心に教育に取り組んでいる	256	30.1%	58.6%	10.2%	1.2%
4-4. 大学の学びによって成長を実感している	256	31.6%	57.4%	9.8%	1.2%

Q5. 今年度後期の授業期間中の平均的な1週間(7日間)の生活時間は、
それぞれどのくらいですか。
(令和7年度 全国学生調査 設問[5])



	回答数	31時間以上	21-30時間	16-20時間	11-15時間	6-10時間	1-5時間	0時間
5-1. 授業への出席(実験・実習、オンライン授業を含む)	256	6.6%	8.6%	26.2%	24.2%	15.2%	17.2%	2.0%
5-2. 卒業論文・卒業研究・卒業制作(4年生のみ回答)	39	10.3%	2.6%	7.7%	23.1%	17.9%	35.9%	2.6%
5-3. 予習・復習・課題など授業に関する学習(卒業論文等は除く)	256	1.6%	0.4%	2.3%	5.5%	17.2%	62.1%	10.9%
5-4. 授業と直接関係しない自主的な学習(学問に関する読書やディスカッション、実技の練習、資格試験の勉強等)	256	1.2%	0.4%	1.2%	4.3%	9.0%	53.1%	30.9%
5-5. 部活動／サークル活動	256	0.4%	0.4%	0.4%	1.6%	5.9%	28.9%	62.5%
5-6. アルバイト／定職	256	4.3%	10.5%	16.8%	16.8%	17.2%	15.2%	19.1%